

次世代へつなげたい魅力あるゲートボール!!

内閣総理大臣杯 第35回



全日本世代交流ゲートボール大会

2018年7月14日(土)・15日(日) 岩手県盛岡市 岩手県営運動公園 第1グラウンド

■主催 / 公益財団法人 日本ゲートボール連合

■主管 / 岩手県ゲートボール協会

目 次

〔1〕 開催実施要項	1
〔2〕 大会役員	2
〔3〕 競技運営要項	4
〔4〕 大会日程	5
〔5〕 式次第	6
〔6〕 参加チーム一覧	7
〔7〕 大会結果	8
〔8〕 入賞チーム一覧	13
〔9〕 チームデータ一覧	13
〔10〕 協賛・協力企業各社	14
〔11〕 テレビ放送	14
〔12〕 会場図	18
記録写真	19

〔1〕開催実施要項

趣 旨

各加盟団体から選ばれた3世代の選手で構成する代表チームにより優勝を競い、もって世代間の交流の促進を図り、健康で活力ある地域コミュニティの形成に資する。

名 称

内閣総理大臣杯
第35回全日本世代交流ゲートボール大会

主 催

公益財団法人日本ゲートボール連合

主 管

岩手県ゲートボール協会

後 援

内閣府、スポーツ庁、岩手県、盛岡市、公益財団法人日本財団、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人岩手県体育協会、岩手日報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ

期 日

2018年7月14日(土)・15日(日)
※開会式：7月14日(土)

開 催 地

岩手県盛岡市

会 場

岩手県営運動公園 第1グラウンド

参加資格

公益財団法人日本ゲートボール連合加盟団体が認めた者で、原則として本連合の見舞金制度に加入していること。

参加規定

- チームは、指定の申込書により申請し登録すること。
※監督および競技者は、複数のチームに登録できない。
※監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ(ゲートボール)指導者であることが望ましい。
- ドーピング防止規程に準拠すること。

参加料

1チーム 5,000円

参加チーム

- 48チーム
- ・主管団体を除いた各加盟団体代表1チーム
- ・主管団体代表2チーム

チーム構成

チームは、5名の競技者および3名以内の交代競技者によって構成し、うち1名を主将とする。
チームには、専任の監督を1名置くことができる。

チーム編成

以下の3世代の選手で編成したチームとする。

- ・15歳未満
- ・15歳以上65歳未満
- ・65歳以上
- ※競技には、各世代1名以上が常時出場していること。
- ※選手の性別は問わない。
- ※監督の年齢・性別は、問わない。
- ※年齢は、2018年4月1日現在とする。

競技規定

公益財団法人日本ゲートボール連合公式ゲートボール競技規則による。

競技方法

リーグ戦、トーナメント戦を行う。

- リーグ戦
4チームを基本とするリーグ戦を行い、順位を決定する。各リーグの代表チームが、トーナメント戦に進出する。
- トーナメント戦
代表チームによるトーナメント戦を行い、優勝、準優勝、第3位(2チーム)を決定する。

競技日程

- 1日目
リーグ戦 第1試合～第6試合
- 2日目
トーナメント戦 第1回戦～決勝戦

表 彰

- 優勝・準優勝・第3位(2チーム)・文部科学大臣賞(1チーム)を表彰する。
- 優勝チームには内閣総理大臣杯を授与し、次回まで保持させる。

〔2〕大会役員

大会名誉顧問

鈴木 大地 スポーツ庁 長官
船田 元 ゲートボール振興議員連盟 会長

大会会長

椎川 忍 公益財団法人日本ゲートボール連合 会長

大会副会長

三浦 宏 岩手県ゲートボール協会 会長

大会顧問

戸部 英一 久米田 勇二 小野寺 五典 加藤 義光 尾形 源二 安瀬 義正 石野 雅昭 深代 栄三 土屋 品子
石井 準一 丸川 珠代 岡田 喜久雄 泉田 裕彦 中川 忠昭 石坂 修一 松井 拓夫 關本 逸兵 平林 操
松村 多美夫 土居 征夫 鈴木 克昌 宮田 淳 酒井 康雄 鈴木 信久 前野 俊彦 望月 登 辻本 隼夫
東裏 登志郎 坂本 喜好 田中 政明 池田 輝美 本郷 明義 永井 健利 中村 太一 五井 敏勝 土居 英雄
上田 貢太郎 池本 直樹 蒲地 春彦 柴田 祐二 伊藤 武康 小野 悟 西村 忠喜 児玉 義人 下地 幹郎

大会参与

上治 丈太郎 久米 信行 小高 幹雄 三遊亭円楽 下光 輝一 花岡 伸和 前田 晃 松尾 哲矢 宮西 義憲
望月 美紗緒 佐藤 黎子 菅原 悟志 南木 恵一 花田 惇 東野 眞理子 町田 光 若林 静子 渡邊 一利

大会委員長

中村 健治

大会副委員長

関口 孝則 熊谷 武

総務委員長

平野 喜嗣

総務副委員長

谷藤 正志

総務委員

山本 房子 川村 緑 小泉 桂子 橘 靖子 佐々木 陽子 藤本 有子 佐藤 幸子 叶城 恵子

競技委員長

佐々木 浩

競技副委員長

菊池 俊夫

競技委員

佐々木 昇 及川 康彦 千葉 繁美 阿部 悟 高田 一実 佐々木 信隆 佐々木 二郎 浅沼 国雄 佐藤 光興
佐藤 圭介 細川 清 川村 勇雄 伊藤 優夢 古谷 優菜 古谷 遥菜 鹿野 真那美 柏館 未央 細川 姫愛
堀間 葉月 沼田 恒希 谷地 北斗 伊藤 新太 西 夢叶 村山 珠桜

審判委員長

小山内 秀則

審判副委員長

小野寺 正登

審判委員

庄子 久吉 川畑 俊三 高橋 尚美 阿部 裕巳 吉田 吉雄 菊池 徳子 浅沼 スギ 木村 洋子 竹原 トミ子
小森 六郎 佐々木 芳 沖 祥次 福島 幸三 佐々木 章一 工藤 義之 荒屋 昌之 太田 正三 法領田 周一
遠藤 正道 古館 勇光 北口 冨美子 鈴木 琢夫 菊池 憲嗣 米倉 清志 小原 徳美 伊藤 武衛 伊藤 久美子
小原 佐一 伊東 克裕 渡邊 春彦 高吉 英世 伊藤 久雄 工藤 静子 照井 耕市 高橋 政良 小原 勝彦
菅原 優 菊地 丈夫 菅原 清 杉原 昭子 晴山 節子 菅原 敬子 藤原 公子 伊藤 とし子 高橋 フミ子
佐藤 あや子 佐々木 静夫 佐藤 テル子 多田 勲 小菅 和夫 小原 直幸 晴山 豊 菊池 正克 小原 君雄
高橋 英明 関 喜平 小原 清郎 阿部 等 伊藤 修 藤村 吉仁 大石 義徳 小原 長四郎 平藤 正市
本宮 秀彦 田村 利也 松浦 伊一 工藤 庄八 桜場 幸一 大向 正明 西岡 健一 工藤 光義 坂本 正與

記録委員長

斉藤 貞夫

記録委員

荒屋 仁 千葉 国雄 佐々木 圭一

〔3〕 競技運営要項

1. 本大会におけるすべての競技は、本連合が発行する公式ゲートボール競技規則 2015・審判実施要領 2015 に準拠して運営する。
2. この大会に参加するすべての監督および競技者はドーピング検査[※]を受ける可能性がある。
3. 待機エリアは主催者が設置する椅子等の周囲とする。
4. フリーゾーンに得点ボードを設置する。
5. 試合に使用するボールは主催者が認定品を用意する。
6. 打順の番号表示は主催者が用意したものを競技者が着用する。
7. 競技開始前の確認時および競技出場時に統一したユニフォームを着用しない競技者がいるチームは不正出場とし、その競技は没収となり、相手チームの勝ちとする。
8. 競技終了時に両チーム同点で、チームの総得点の内容により勝敗が決定しないときは、公式ゲートボール競技規則 2015 の第7条第2項2. に準拠して勝敗を決定する。
9. リーグ戦の順位決定方法は次の順序による。
 - (1) 勝ち数
 - (2) 得失点差
 - (3) 対戦結果
 - (4) (1) から (3) により決定しない場合は、抽選により決定する。
10. リーグ戦の組み合わせは 2017 年度マネジメントセミナーにおける抽選により決定済み。
11. トーナメント戦の組み合わせは主催者が決定する。
12. 競技の没収があった場合は次のとおりとする。
 - (1) 競技の没収についての得点は定めない。
 - (2) 没収より前までの競技の成績はそのままとする。
 - (3) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、それまでの成績にかかわらず、そのリーグの代表になれない。
 - (4) リーグ戦において競技の没収により負けたチームは、この大会において、没収より後の競技に参加することができない。
13. 競技時間等の変更を余儀なくされた場合については大会委員長が決定する。
14. 上記 1. ～ 13. およびその他の事象が発生した場合の最終判断は大会委員長が決定する。

※ ドーピング検査等については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構発行の「ドーピング防止ガイドブック PLAY TRUE」参照。

JADA ホームページにてダウンロード可能。

<http://www.playtruejapan.org/>

(4) 大会日程

7月14日 (土)		7月15日 (日)	
公開練習 開会式・リーグ戦		トーナメント戦 閉会式	
7:00			
8:00		来賓受付 8:00~8:40	チーム受付 8:00~8:20
9:00	公開練習 練習を希望するチームには、この 時間内に限りグラウンドの利用を 許可します。事前申込等は特に 必要ありませんので、各チーム譲 り合ってください。 ※チームごとの練習時間やコート 等も特に定めておりません。	チーム受付 9:30~11:30	トーナメント戦 第1回戦 8:40~9:10 第2回戦 9:25~9:55 第3回戦 10:10~10:40 準決勝戦 10:55~11:25 決勝戦 11:45~12:15
10:00			
11:00	来賓受付 11:00~12:00		
12:00	開会式 12:00~12:30		
13:00		閉会式 12:30~13:00	
14:00	リーグ戦 第1試合 13:00~13:30 第2試合 13:40~14:10		
15:00	第3試合 14:30~15:00 第4試合 15:10~15:40		
16:00	第5試合 16:00~16:30 第6試合 16:40~17:10		
17:00			

※参加チームは、出場するリーグ戦の開始20分前に、所定のチーム集合所に集まること。

(5) 式 次 第

7月14日(土) 12:00～12:30

開会式

1. 開式通告
2. 国歌斉唱
3. 大会会長挨拶
4. 岩手県知事祝辞
5. 盛岡市長祝辞
6. 来賓紹介
7. 選手宣誓
8. 閉式通告

7月15日(日) 12:30～13:00

閉会式

1. 開式通告・成績発表
2. 表 彰
3. 大会副委員長挨拶
4. 閉式通告

〔6〕 参加チーム一覧 (48チーム)

No.	県名	チーム名	フリガナ	参加者数	平均年齢	最高年齢	最少年齢	年齢差
1	北海道	セブン北海道	セブンホクドウ	6	40.2	68	11	57
		芽室の風	メムロカゼ	5	44.0	68	10	58
2	青森県	あおもり	アオリ	7	62.0	83	13	70
		けやぐ	ケガ	6	41.7	76	13	63
		十和田西	トワダニシ	8	31.9	73	2	71
		チーム七戸	チムシチホ	6	47.3	70	13	57
3	岩手県	岩手北上	イワテキタミ	6	41.2	71	11	60
		久慈 K.O.S	クジケイオーエス	8	34.3	76	11	65
		久慈	クジ	8	36.3	77	11	66
		もりおか木曜クラブ	モリオカモクヨウクラブ	6	49.2	84	13	71
		カシオペア	カシオペア	6	37.5	66	11	55
		宮古ちゃん	ミヤコちゃん	6	43.3	68	11	57
4	宮城県	シャトル仙台	シャトルセンダイ	6	54.7	66	11	55
		仙台かむり	センダイカマリ	6	60.8	78	10	68
		宮城野ワイワイ	ミヤギノワイワイ	7	57.1	75	10	65
		ハニ-	ハニ-	5	33.8	77	8	69
6	山形県	だだちゃ豆キング	ダダチャマメキング	5	56.4	77	10	67
7	福島県	北信	ホクシン	7	47.9	73	12	61
		大倉ワンダラーズ	オホクラワンダラーズ	6	51.3	82	6	76
		西会津	6	48.2	79	12	67	
		会津レインボー	アイヅレインボウ	6	52.8	74	13	61
8	茨城県	水戸三中 G・B・C	ミツマツチュウサンジービーシー	8	48.0	80	13	67
13	東京都	千代田クラブ	チヨウテンクラブ	9	34.5	77	5	72
		立川こぶし	タチカワコブシ	5	56.6	76	11	65
		清瀬きらり	セイゼキキラリ	5	55.2	75	13	62
14	神奈川県	悠誠	ユウセイ	6	30.2	68	7	61
15	新潟県	T K E	ティーケーイー	6	37.5	83	14	69
		大潟	オホガタ	6	43.3	77	14	63
		ぶんすい	ブンスイ	5	52.8	76	11	65
17	石川県	七尾	ナナオ	6	40.7	69	12	57
18	福井県	古崎ファミリー	コザキファミリー	7	38.0	74	10	64
19	山梨県	甲西ネコバス	コウサイネコバス	7	49.3	73	5	68
20	長野県	飯山	イハヤマ	5	52.2	71	12	59
21	岐阜県	岐阜羽島	ギフハシマ	6	40.7	76	14	62
		緑ヶ丘 A	ミドリカガキA	5	45.6	76	12	64
22	静岡県	富士スノーファルコン	フジスノーファルコン	7	27.4	69	14	55
23	愛知県	萬燈組	マントウグミ	8	35.0	69	14	55
		松平	マツダaira	5	43.6	70	12	58
24	三重県	E・フォー・ス	イーフォー・ス	9	38.8	96	7	89
		松阪クラブ	マツサカクラブ	6	46.5	69	11	58
26	京都府	京都美山	キョウトミヤマ	8	50.3	74	9	65
		城陽	シヨウヨウ	5	57.4	77	11	66
32	島根県	友和会	ユウカイ	5	46.6	74	11	63
		友和会 A	ユウカイA	5	44.8	71	9	62
34	広島県	広島楓	ヒロシマカエデ	5	27.6	67	14	53
		広島楓 HEROES	ヒロシマカエデヒーローズ	5	36.4	76	13	63
36	徳島県	小松島	コマツシマ	5	36.8	78	11	67
46	鹿児島県	佐多キング	サタキング	5	39.2	68	14	54
合計		48チーム		296名	44.3	96	2	63

(7) 大会結果 リーグ戦

コート番号 1

対戦チーム チー ム	岩手北上	小松島	七 尾	甲西 ネコバス	勝	敗	得点	失点	得失 点差	対戦 結果	順位
岩手北上 (岩手県)		18 ○	13 ○	21 ○	3	0	52	22	30		1
小松島 (徳島県)	6		19 ○	12 ○	2	1	37	37	0		2
七 尾 (石川県)	11	8		10	0	3	29	44	-15		4
甲西ネコバス (山梨県)	5	11	12 ○		1	2	28	43	-15		3

コート番号 2

対戦チーム チー ム	宮古ちゃん	富士スノー ファルコン	芽室の風	清瀬きらり	勝	敗	得点	失点	得失 点差	対戦 結果	順位
宮古ちゃん (岩手県)		11	10 ○	12 ○	2	1	33	31	2		2
富士スノーファルコン (静岡県)	12 ○		18 ○	内容勝 12 ○	3	0	42	33	9		1
芽室の風 (北海道)	8	10		7	0	3	25	44	-19		4
清瀬きらり (東京都)	11	12	16 ○		1	2	39	31	8		3

コート番号 3

対戦チーム チー ム	千代田クラブ	もりおか 木曜クラブ	T K E	会津 レインボー	勝	敗	得点	失点	得失 点差	対戦 結果	順位
千代田クラブ (東京都)		15 ○	14 ○	23 ○	3	0	52	23	29		1
もりおか木曜クラブ (岩手県)	8		14 ○	20 ○	2	1	42	30	12		2
T K E (新潟県)	9	6		9 ○	1	2	24	33	-9		3
会津レインボー (福島県)	6	9	5		0	3	20	52	-32		4

コート番号 4

対戦チーム チー ム	北 信	ハニー	萬 燈 組	立川こぶし	勝	敗	得点	失点	得失 点差	対戦 結果	順位
北 信 (福島県)		17 ○	7	13 ○	2	1	37	26	11		2
ハニー (宮城県)	6		4	6	0	3	16	60	-44		4
萬 燈 組 (愛知県)	15 ○	25 ○		23 ○	3	0	63	17	46		1
立川こぶし (東京都)	5	18 ○	6		1	2	29	42	-13		3

コート番号 5

対戦チーム	久 慈	飯 山	仙台かむり	岐阜羽島	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
久 慈 (岩手県)		8	13	5	1	2	26	39	-13		3
飯 山 (長野県)	13		17	9	2	1	39	32	7		2
仙台かむり (宮城県)	7	13		10	0	3	30	49	-19		4
岐阜羽島 (岐阜県)	19	11	19		3	0	49	24	25		1

コート番号 6

対戦チーム	悠 誠	西会津	広島楓 HEROES	セブン北海道	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
悠 誠 (神奈川県)		12	11	25	3	0	48	27	21		1
西会津 (福島県)	11		8	5	0	3	24	35	-11		4
広島楓HEROES (広島県)	9	10		23	2	1	42	27	15		2
セブン北海道 (北海道)	7	13	8		1	2	28	53	-25		3

コート番号 7

対戦チーム	久慈 K.O.S	京都美山	E・フォース	大 潟	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
久慈K.O.S (岩手県)		9	同決勝 9	14	2	1	32	35	-3		2
京都美山 (京都府)	17		7	8	1	2	32	33	-1		3
E・フォース (三重県)	9	15		17	2	1	41	25	16		1
大 潟 (新潟県)	9	9	9		1	2	27	39	-12		4

コート番号 8

対戦チーム	緑ヶ丘A	十和田西	水戸三中 G・B・C	だだちゃ豆 キング	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
緑ヶ丘A (岐阜県)		9	16	8	1	2	33	51	-18		3
十和田西 (青森県)	19		12	18	3	0	49	24	25		1
水戸三中G・B・C (茨城県)	10	10		10	0	3	30	53	-23		4
だだちゃ豆キング (山形県)	22	5	25		2	1	52	36	16		2

コート番号 9

対戦チーム チーム	松 平	あおもり	広島楓	カシオペア	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
松 平 (愛知県)		18 ○	15 ○	6	2	1	39	36	3		2
あおもり (青森県)	10		12	10	0	3	32	60	-28		4
広島楓 (広島県)	11	19 ○		13	1	2	43	40	3		3
カシオペア (岩手県)	15 ○	23 ○	内容勝 13 ○		3	0	51	29	22		1

コート番号 10

対戦チーム チーム	チーム七戸	友和会A	大倉 ワンダラーズ	松阪クラブ	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
チーム七戸 (青森県)		11	8	11 ○	1	2	30	38	-8		3
友和会A (島根県)	15 ○		8	12 ○	2	1	35	30	5		2
大倉ワンダラーズ (福島県)	14 ○	12 ○		11 ○	3	0	37	26	11		1
松阪クラブ (三重県)	9	7	10		0	3	26	34	-8		4

コート番号 11

対戦チーム チーム	城 陽	佐多キング	古崎 ファミリー	宮城野 ワイワイ	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
城 陽 (京都府)		9	22 ○	17 ○	2	1	48	45	3		2
佐多キング (鹿児島県)	23 ○		14 ○	23 ○	3	0	60	22	38		1
古崎ファミリー (福井県)	10	5		13 ○	1	2	28	46	-18		3
宮城野ワイワイ (宮城県)	12	8	10		0	3	30	53	-23		4

コート番号 12

対戦チーム チーム	シャトル仙台	友和会	けやぐ	ぶんすい	勝	敗	得点	失点	得失点差	対戦結果	順位
シャトル仙台 (宮城県)		13	11 ○	17 ○	2	1	41	31	10		2
友和会 (島根県)	14 ○		6	21 ○	2	1	41	40	1		3
けやぐ (青森県)	10	21 ○		17 ○	2	1	48	24	24		1
ぶんすい (新潟県)	7	6	7		0	3	20	55	-35		4

内閣総理大臣杯 第35回全日本世代交流ゲートボール大会 / リーグ戦・成績表

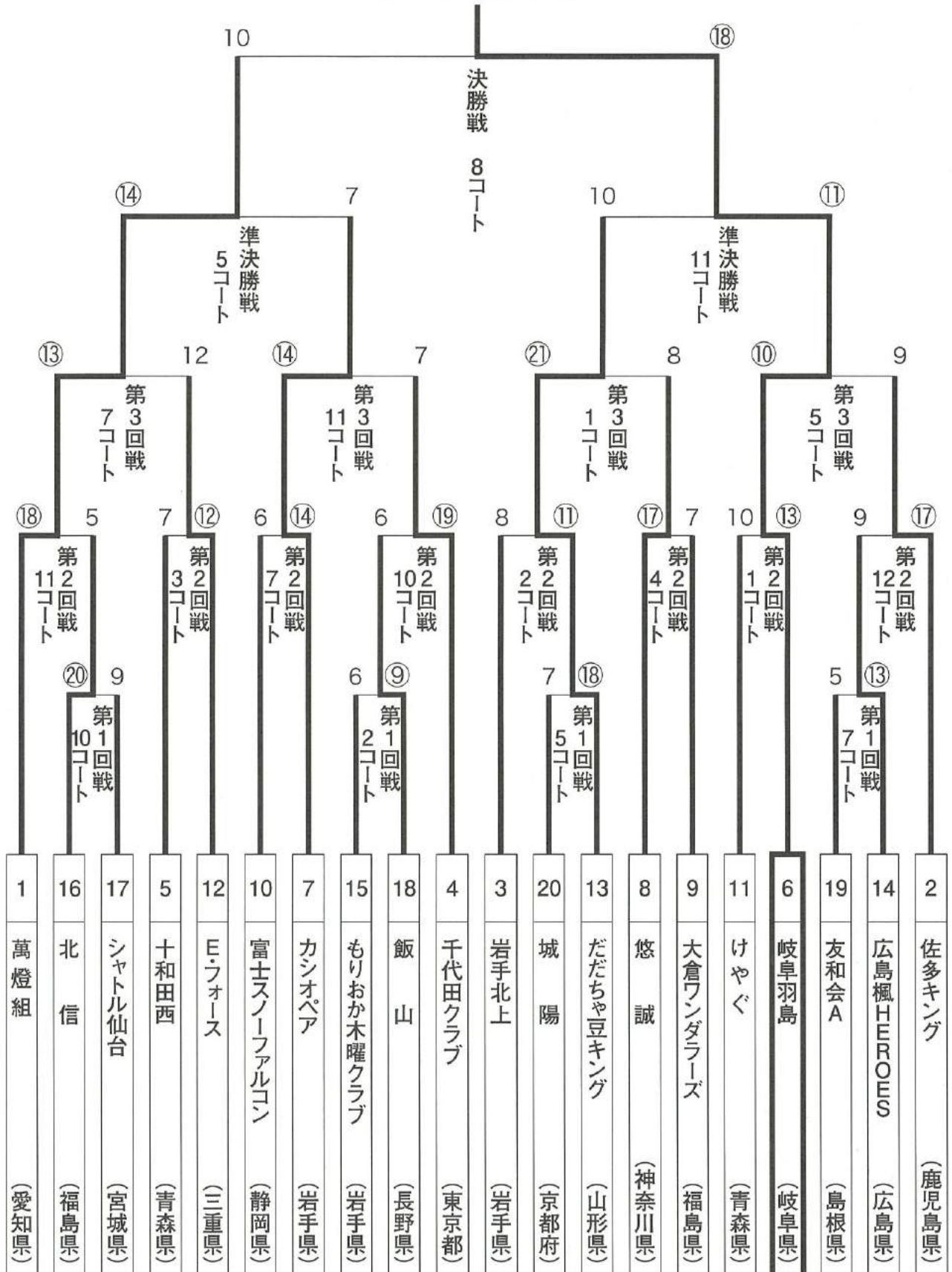
2018年7月14日・15日 於：岩手県盛岡市／岩手県営運動公園 第1グラウンド

No.	県名	チーム名	コート	勝	負	得点	失点	得失差	順位	進出
1	北海道	セブン北海道	6	1	2	28	53	-25	3位	×
2	北海道	芽室の風	2	0	3	25	44	-19	4位	×
3	青森県	あおもり	9	0	3	32	60	-28	4位	×
4	青森県	けやぐ	12	2	1	48	24	24	1位	○
5	青森県	十和田西	8	3	0	49	24	25	1位	○
6	青森県	チーム七戸	10	1	2	30	38	-8	3位	×
7	岩手県	岩手北上	1	3	0	52	22	30	1位	○
8	岩手県	久慈K.O.S	7	2	1	32	35	-3	2位	×
9	岩手県	久慈	5	1	2	26	39	-13	3位	×
10	岩手県	もりおか木曜クラブ	3	2	1	42	30	12	2位	○
11	岩手県	カシオペア	9	3	0	51	29	22	1位	○
12	岩手県	宮古ちゃん	2	2	1	33	31	2	2位	×
13	宮城県	シャトル仙台	12	2	1	41	31	10	2位	○
14	宮城県	仙台かむり	5	0	3	30	49	-19	4位	×
15	宮城県	宮城野ワイワイ	11	0	3	30	53	-23	4位	×
16	宮城県	ハニー	4	0	3	16	60	-44	4位	×
17	山形県	だだちや豆キング	8	2	1	52	36	16	2位	○
18	福島県	北信	4	2	1	37	26	11	2位	○
19	福島県	西会津	6	0	3	24	35	-11	4位	×
20	福島県	会津レインボー	3	0	3	20	52	-32	4位	×
21	福島県	大倉ワンダラーズ	10	3	0	37	26	11	1位	○
22	茨城県	水戸三中G・B・C	8	0	3	30	53	-23	4位	×
23	東京都	千代田クラブ	3	3	0	52	23	29	1位	○
24	東京都	立川こぶし	4	1	2	29	42	-13	3位	×

No.	県名	チーム名	コート	勝	負	得点	失点	得失差	順位	進出
25	東京都	清瀬さらり	2	1	2	39	31	8	3位	×
26	神奈川県	悠誠	6	3	0	48	27	21	1位	○
27	新潟県	TKE	3	1	2	24	33	-9	3位	×
28	新潟県	大潟	7	1	2	27	39	-12	4位	×
29	新潟県	ぶんすい	12	0	3	20	55	-35	4位	×
30	石川県	七尾	1	0	3	29	44	-15	4位	×
31	福井県	古崎ファミリー	11	1	2	28	46	-18	3位	×
32	山梨県	甲西ネコバス	1	1	2	28	43	-15	3位	×
33	長野県	飯山	5	2	1	39	32	7	2位	○
34	岐阜県	岐阜羽島	5	3	0	49	24	25	1位	○
35	岐阜県	緑ヶ丘A	8	1	2	33	51	-18	3位	×
36	静岡県	富士ノーツアルコン	2	3	0	42	33	9	1位	○
37	愛知県	萬燈組	4	3	0	63	17	46	1位	○
38	愛知県	松平	9	2	1	39	36	3	2位	×
39	三重県	E・フォース	7	2	1	41	25	16	1位	○
40	三重県	松阪クラブ	10	0	3	26	34	-8	4位	×
41	京都府	京都美山	7	1	2	32	33	-1	3位	×
42	京都府	城陽	11	2	1	48	45	3	2位	○
43	島根県	友和会	12	2	1	41	40	1	3位	×
44	島根県	友和会A	10	2	1	35	30	5	2位	○
45	広島県	広島楓	9	1	2	43	40	3	3位	×
46	広島県	広島楓HEROES	6	2	1	42	27	15	2位	○
47	徳島県	小松島	1	2	1	37	37	0	2位	×
48	鹿児島県	佐多キング	11	3	0	60	22	38	1位	○

トーナメント戦

岐阜羽島(岐阜県)



〔8〕 入賞チーム一覧

順位	チーム名	都道府県名
優勝	岐阜羽島	岐阜県
準優勝	萬燈組	愛知県
第3位	だだちゃ豆キング	山形県
	カシオペア	岩手県
文部科学大臣賞	だだちゃ豆キング	山形県

〔9〕 チームデータ一覧

参加チーム数	48チーム			
参加人数	296名			
平均年齢	44.3歳			
最少平均年齢チーム	富士スノーファルコン（静岡県）	27.4歳		
最高平均年齢チーム	あおもり（青森県）	62.0歳		
最少年齢選手	男性	甲西ネコバス（山梨県）	丸山楓真	5歳
	女性	十和田西（青森県）	末吉花菜	2歳
最高年齢選手	男性	E・フォーース（三重県）	松原相龍	96歳
	女性	もりおか木曜クラブ（岩手県）	久慈とめ	84歳

※ 出場選手の年齢は、2018年4月1日現在。

〔10〕 協賛・協力企業各社

名鉄観光サービス株式会社

株式会社日本レジャーチャンネル

株式会社ティエヌケイ

〔11〕 テレビ放送

媒体名：スカパー！（デジタル衛星放送 680ch）

番組名：JLC「スーパーゲートボール」

放送日：2018年	8月4日（土）	AM 6：00～6：55
	8月5日（日）	AM 6：00～6：55
	8月18日（土）	AM 6：00～6：55
	8月19日（日）	AM 6：00～6：55

世代を超え熱戦 ゲートボール



選手宣誓するもりおか木曜クラブの(左から)切明畑佑香さん、滝村政子さん、久慈とめさん

内閣総理大臣杯第35回全日本世代交流ゲートボール大会(日本連合主催)は14日、盛岡市みたけの県営運動公園で開幕した。本県開催は初めてで、全国から訪れた幅広い世代がプレーを通じ交流を深めている。最終日の15日は予選を突破した20チームによる決勝トーナメントが行われる。

盛岡で全日本交流大会

48チーム はつらつと

本県の6チームを含む48チーム295人が参加。開会式で、もりおか木曜クラブの久慈とめさん(83)・盛岡市、滝村政子さん(54)・同、切明畑佑香さん(21)・市・福岡中2年)が「感謝や希望を込め、仲間と一生懸命戦って選手宣誓した。チームは14歳以下、15、64歳、65歳以上の3世代で編成。4チームによる予選リーグを実施し、1位12チーム2位の成績上位8チームが15日の決勝トーナメントに進出する。

選手は強い日差しの中、「ナイス」「惜しい」と声を掛け合いながらプレー。日頃の練習で培ったチームワークを生かし、若者男女が楽しく競い合った。三重県伊賀市から訪れた松原相龍さん(96)は大会史上最高齢の参加。「勝利の喜びや健康のために続けている。話をしながら楽しくプレーできる」と魅力を語った。同連合によると、ゲートボールは1947年に北海



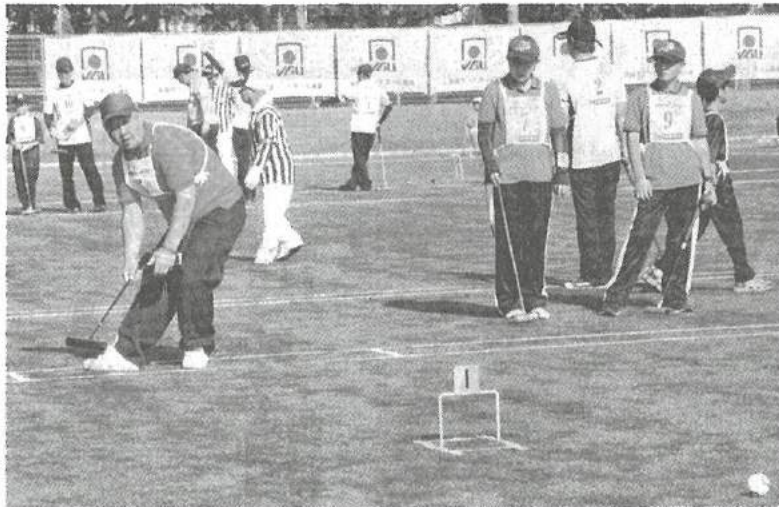
真剣な表情でプレーする選手たち



仲間に見守られながらゲートを狙う選手



「お疲れさま」。試合終了後、健闘をたたえ合う選手たち



内閣総理大臣杯第35回 全日本世代交流ゲートボール大会（日本ゲートボール連合主催）は14日、

岩手北上、決勝T進出

全日本世代交流 GB大会・盛岡 48チームが熱戦

盛岡市の県営運動公園で開幕した。幅広い世代の老若男女で構成する計48チームが参加して15日までの2日間、互いに声を掛け合い、フォローし合いながら、日本一を目指して熱戦を展開している。

同大会は、世代間交流促進と健康で活力ある地域コミュニティの形成が目的。全国持ち回りで開かれ、本県での開催は初となる。チームは15歳未満、15〜65歳未満、65歳以上の3世代で構成。

幅広い世代が協力し合い、白熱したプレーを繰り広げている全日本世代交流GB大会

今回は2〜96歳の計295人が参加した。初日はリーグ戦を実施。炎天下の中でも参加者は集中力を切らさず、真剣な表情でプレー。ベテランの助言を受け、若者が力強くスティックを振るなど、各チームもそれぞれの強みを生かして白熱した試合を繰り広げた。

このうち岩手北上（北上市）は、3戦3勝で15日の決勝トーナメント進出が決定。主将の及川傳治さん（71）は「試合ではチームプレーが大事。最後は接戦だったが、決勝トーナメントに進出できて良かった」と満足げ。同チームの小野寺凛さん（12）は市立口内小

学校6年間は「大人と一緒にプレーすると、やっぱりうまいと感じる。協力して3位以内を目指したい」と意気込んでいた。15日は各リーグ代表の20チームによる決勝トーナメントが行われる。

本県カシオペアが3位

全日本世代交流
ゲートボール



3位に入り、笑顔を見せるカシオペアのメンバー

盛岡

内閣総理大臣杯第35回全日本世代交流ゲートボール大会(日本連合主催)は15日、盛岡市みたけの県営運動公園で2日目が開かれ、岐阜羽島(岐阜県)が優勝、本県のカシオペアは3位に入った。

同日はリーグ戦を勝ち上がった20チームによるトー

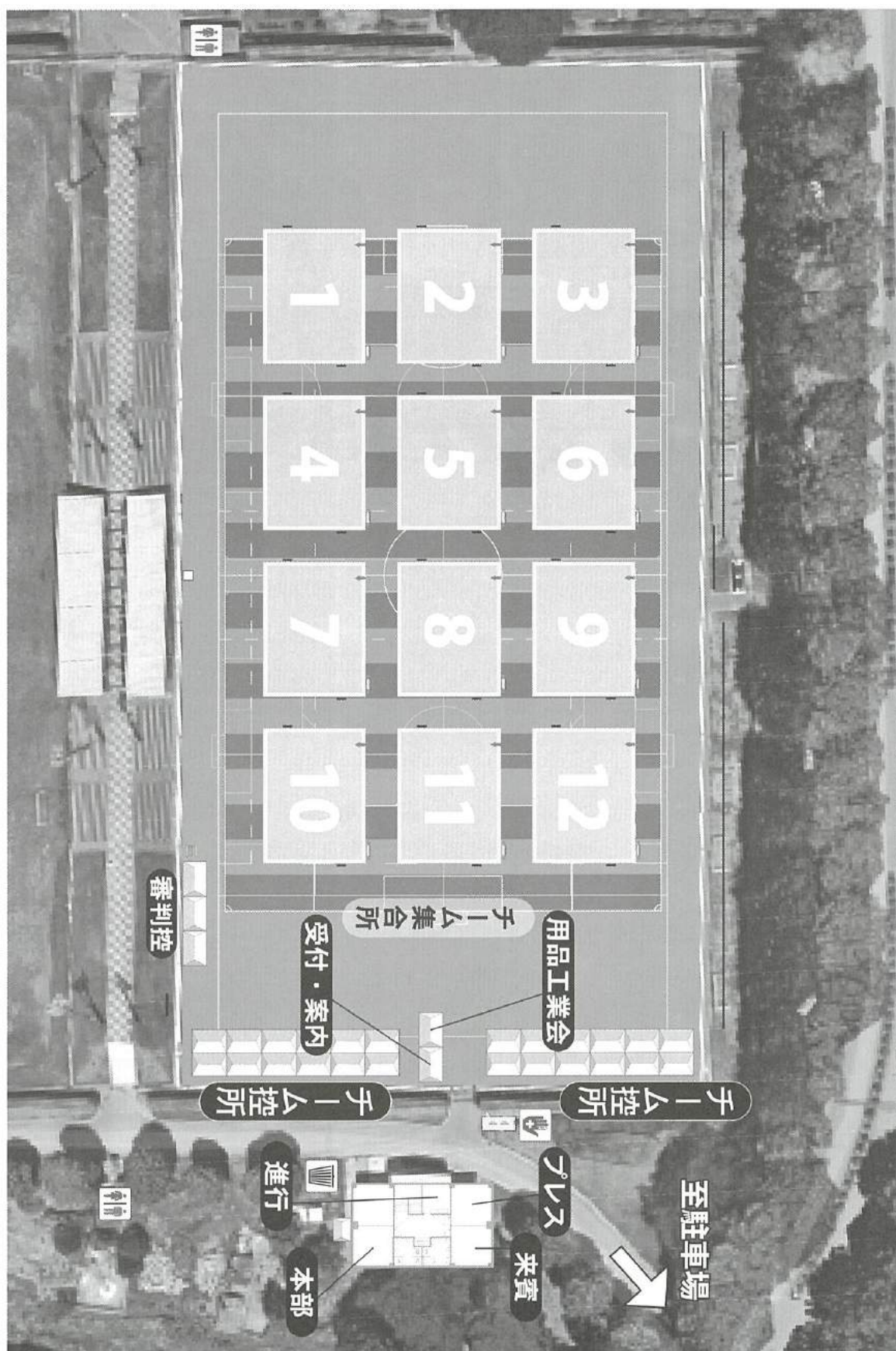
ナメント戦が行われ、岐阜羽島と萬燈組(愛知県)が決勝に勝ち上がった。

決勝戦では多くのギヤラリーが見守る中、3世代の選手たちが真剣な表情でプレー。主将の指示を受けながら堅実なショットを重ね、長い距離のショットが決まるとギヤラリーから歓声が上がった。

カシオペアは富士スノーファルコン(静岡県)、千代田クラブ(東京都)を下

したが、準決勝で萬燈組に敗れた。カシオペアのメンバー最年少の切明畑智稀君(二宮西小6年)は「目標は優勝だったが、3位でもうれしい。ジュニアの全国大会で優勝したい」と決意を新たにしていた。

(12) 会場図



記 録 写 真

the 1990s, the number of people with a mental health problem has increased in the UK, and the number of people with a mental health problem who are in contact with mental health services has also increased (Mental Health Act 1983, 1990, 1994, 1997, 2003).

There is a growing awareness of the need to improve the lives of people with a mental health problem, and to reduce the stigma and discrimination that they experience. This has led to a number of initiatives, including the development of mental health services, the establishment of mental health charities, and the development of mental health legislation (Mental Health Act 1983, 1990, 1994, 1997, 2003).

The aim of this paper is to describe the development of mental health services in the UK, and to discuss the challenges that mental health services face in the future. The paper is divided into three sections: a description of the current mental health services in the UK, a discussion of the challenges that mental health services face in the future, and a discussion of the role of mental health services in the future.

The current mental health services in the UK are based on a model of care that is based on the idea of a 'mental health team'. This model of care involves a number of professionals, including psychiatrists, psychologists, nurses, and social workers, who work together to provide care for people with a mental health problem.

The challenges that mental health services face in the future are a result of a number of factors, including the increasing number of people with a mental health problem, the increasing cost of mental health services, and the increasing demand for mental health services. These challenges need to be addressed if mental health services are to continue to provide care for people with a mental health problem.

The role of mental health services in the future is to provide care for people with a mental health problem, and to reduce the stigma and discrimination that they experience. This role can be achieved by a number of means, including the development of mental health services, the establishment of mental health charities, and the development of mental health legislation (Mental Health Act 1983, 1990, 1994, 1997, 2003).

The development of mental health services in the UK has been a long and complex process, and it is likely to continue to be a long and complex process in the future. The challenges that mental health services face in the future are a result of a number of factors, and these challenges need to be addressed if mental health services are to continue to provide care for people with a mental health problem.

The role of mental health services in the future is to provide care for people with a mental health problem, and to reduce the stigma and discrimination that they experience. This role can be achieved by a number of means, including the development of mental health services, the establishment of mental health charities, and the development of mental health legislation (Mental Health Act 1983, 1990, 1994, 1997, 2003).

The development of mental health services in the UK has been a long and complex process, and it is likely to continue to be a long and complex process in the future. The challenges that mental health services face in the future are a result of a number of factors, and these challenges need to be addressed if mental health services are to continue to provide care for people with a mental health problem.

開会式



日本ゲートポール連合
会長 椎川 忍



岩手県知事 達増 拓也 様
代読 岩手県文化スポーツ部
部長 菊池 哲 様



盛岡市長 谷藤 裕明 様



盛岡市議会
議長 天沼 久純 様



日本財団 ソーシャルイノベーション本部
公益事業部 吉田 一見 様



総司会



ご来賓の皆様



大会役員



選手宣誓 もりおか木曜クラブ
切明畑 佑香 選手・滝村 政子 選手・久慈 とめ 選手

会場風景



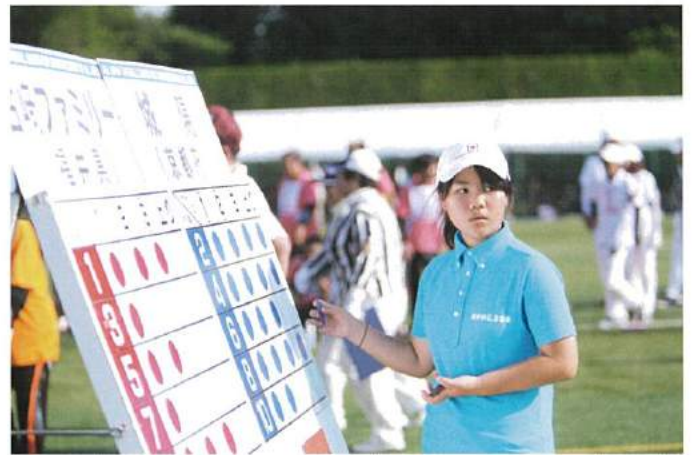
岩手県のユース・ジュニア会員による運営サポート



競技進行アナウンス



記録集計



ハイライト





開会式



岩手県ゲートボール協会 理事長 熊谷 武





優勝：岐阜羽島（岐阜県）



準優勝：萬燈組（愛知県）



第3位：だだちゃ豆キング（山形県）



第3位：カシオペア（岩手県）

賞状・メダル等



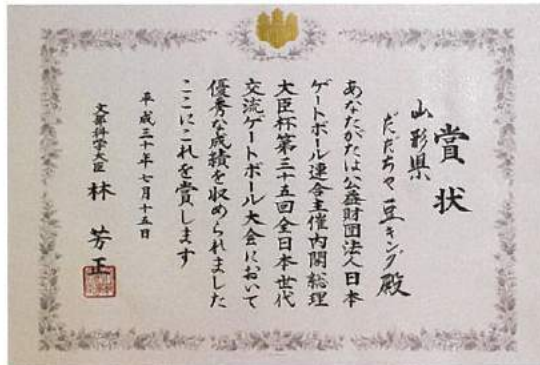
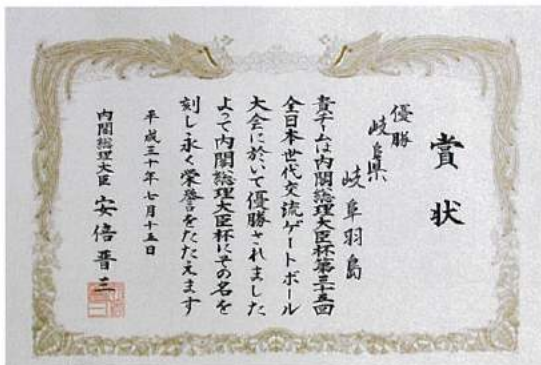
内閣総理大臣杯・レプリカ



入賞トロフィー



入賞メダル



文部科学大臣賞



ゼッケン



開催要綱



大会プログラム